

車種別取付資料

BOX No. 540621

車両情報

マツダ アテンザ

GJ系

1/4ページ

Type N.L.

平成24年11月～27年1月

① アドバンストキーレスエントリー付き車のみ

Opt. ドアロックリレーNEXT(EP162)

◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

① 各配線の取り付けについては、2/4～4/4ページをご覧ください。

① 注意事項

エンジンスタートのリモコンと電子キーは、必ず付属のキーホルダーに取り付けして、エンジンスタートを使用する際は、エンジンスタートのリモコンと電子キーは必ず重ねた状態で操作してください。重ねずに操作をすると、エンジンは始動しません。

① 別売のハザードユニットⅡ(商品コード:EP156)の取り付けは、できません。

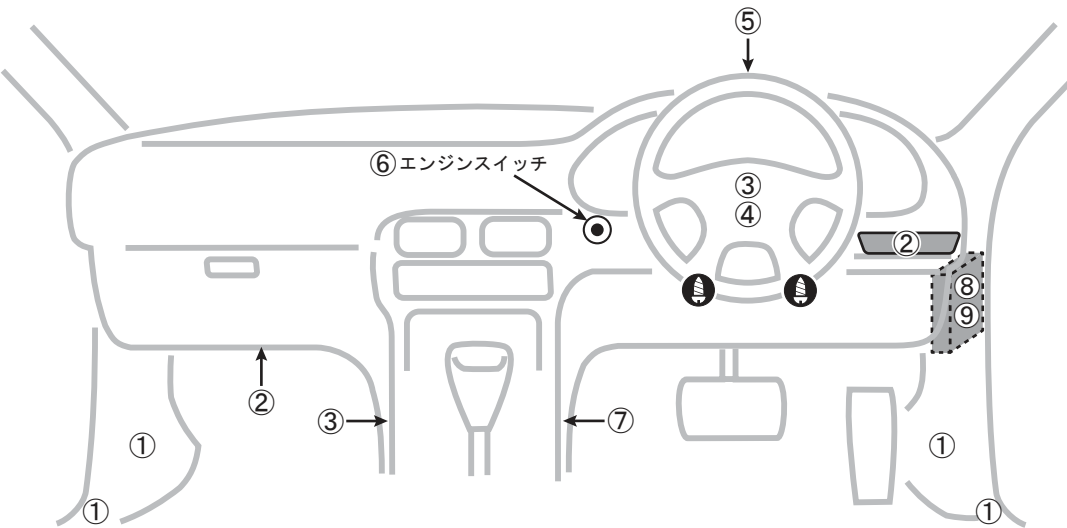
① カバー類の取り外し方(運転席側)

- ① 右サイドステップのカバーとサイドカバーを外す。
 - ② メーター右下側のデコレーションパネルを外す。…パネルの左側からリムーバツールを差し込み、クリップとメーターフードのかん合を外す。その後、パネルの左側を引きながら右側のガイドを外す。
 - ③ コラムカバー(上側)を外す。…ステアリングを手前側の最下まで下げてから、カバー左右のレバー付近を親指で押しながら手前側から順番にコラムカバー(下側)とのツメのかん合を外す。最後に、メーターフードのカバーから左右のツメ(4箇所)を破損しないように一つずつ外す。
 - ④ コラムカバー(下側)を外す。…下側のネジ(2本)を外してから、カバーを左右に動かしてレバーのツメのかん合を外す。その後、ステアリング(チルト)のレバーを最下まで下げ固定してから、カバーを手前側に引いて奥下側のガイドを外しながらカバーを外す。
 - ⑤ メーターフードを外す。…右下側～左下側～上側の順に、手前に引っ張りながらクリップとツメを外して引き出す。
 - ⑥ エンジンスイッチ裏側のコネクタを外す。
 - ⑦ 右側センター下側のカバーを外す。…手前側のツメを外してから、カバーを手前に引いて外す。
- ※以降は、ドア検出線、ドアロック/アンロック線の配線を行う場合のみ外す。
- ⑧ Boseサウンドシステム付き車は、右サイド上側のオーディオアンプユニットを外す。
 - ⑨ 奥に運転席ドアへの中継カプラが見える。

① カバー類の取り外し方(助手席側)

- ① 左サイドステップのカバーとサイドカバーを外す。
- ② アンダーカバーを外す。
- ③ 左側センター下側のカバーを外す。…手前側のツメを外してから、カバーを手前に引いて外す。

止めネジ等



車種別取付資料

BOX No. 540621

車両情報

マツダ アテンザ

GJ系

2/4ページ

Type N.L.

平成24年11月~27年1月

① アドバンストキーレスエントリー付き車のみ

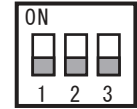
Opt. ドアロックリレーNEXT(EP162)

① 注意事項

- ・取り付けできるエンジンスタートは、プッシュスタート専用モデルのNEXT LIGHT 801 (商品コード: ESL801) のみです。
- ・専用ハーネスと送信ユニットはセット商品に含まれています。
- ・取り付け後は、初期設定が必要になります。(本ページ左下に記載)
- ・エンジンスタートにてエンジン始動の際は、必ずリモコンと電子キーを重ねた状態にして、送信操作してください。
- ・リモコンと電子キーを重ねずに操作をすると、エンジンは始動しません。

① CN2ハーネスの各配線の取り付けは、4/4ページを参照してください。

DIP-SW



リレーユニットのDIP-SWは、全てOFFにセットされていることを確認してください。(出荷時は、全てOFFにセットされています。)

① 専用ハーネスのアース (黒)
取り付け位置：左上側のアースポイントのボルトに共締めする。

エンジンスイッチの裏側
10P黒色カプラ

専用ハーネス
10Pコネクタを割込接続

サイドカバー内
LFコントロールユニット
28P白色カプラ

専用ハーネス
LF (赤)
若葉

コラム下側の
スタート・ストップユニット
左側の32P白色カプラ

専用ハーネス
IG1入力 (橙)
紫

専用ハーネス
ST入力 (白)
赤/黄

① IG ON時: 0V、
始動後: 12V

フットブレーキ上側
4P白色カプラ

専用ハーネス
STOP出力 (青)
赤/黒

① 通常時: 0Vで、
フットブレーキを踏んだ
とき: 12V

専用ハーネス
12V (黄)
緑/白

初期設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
 - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
 - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスタートでエンジンがかかりません。

配線内容(専用ハーネスの配線色)

車両配線色

専用ハーネス
M151S

① 取り付け方法

- ① 専用ハーネスの10P中継コネクタを、エンジンスイッチ裏側のカプラに割込接続する。
- ② 黄色/青色/橙色/赤色/白色の5本をそれぞれエレクトロタップを使用して上記の場所に接続する。(あらかじめ接続先の配線は、テスターで電圧を確認して、確実に接続してください。)
- ③ アース (黒色) を、指定位置に固定する。
- ④ 専用ハーネスの10P白色コネクタへ送信ユニットを接続して、運転席側ドアトリム上側のグリップ付近へ送信ユニットを取り付ける。(3/4ページの写真を参照)
- ⑤ 14PコネクタをリレーユニットのCN1に接続する。

車種別取付資料

BOX No. 540621

車両情報

マツダ アテンザ

平成24年11月～27年1月

GJ系

3/4ページ

① アドバンスキーレスエントリー付き車のみ

Type N.L.

Opt. ドアロックリレーNEXT(EP162)

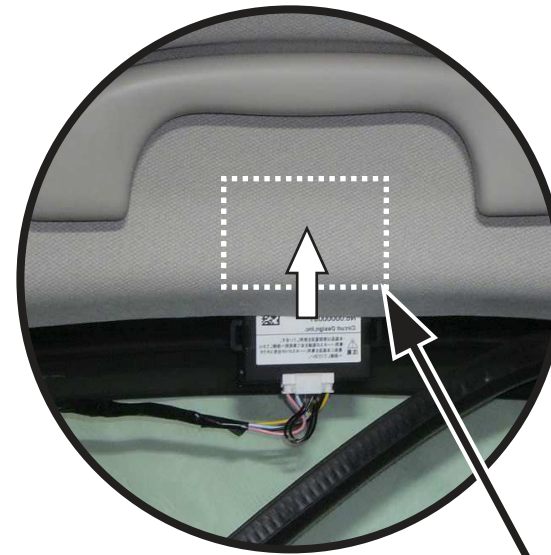
重要！各ユニット取付け時のポイント

- リレーユニットとアンテナユニット
 - ・必ず運転席側へ取付け（固定）してください。
- 送信ユニット（写真①～③を参照してください）
 - ・運転席側ドアトリム上側のグリップ付近の内張の隙間へ、送信ユニットのラベル表示面を車室内側へ向けて固定してください。
 - ・リレーユニットから送信ユニットへのハーネスは、ドアトリムのウェザーストリップを外し、トリムに沿わせて上側のグリップ付近へ導いてください。

① 運転席側ドアトリム



② ウェザーストリップを外し送信ユニットへのハーネスを点線のように沿わせる



③ 送信ユニット取付けエリア

- ① ウェザーストリップがきれいに収まるようように送信ユニットは、上側へ押し込めてください。送信ユニットのラベル面は必ず車室内側へ向けてください。

車種別取付資料

BOX No. 540621

車両情報

マツダ アテンザ

GJ系

4/4ページ

Type N.L.

平成24年11月~27年1月

① アドバンストキーレスエントリー付き車のみ

Opt. ドアロックリレーNEXT(EP162)

① 特有の注意事項

※エンジンスターターでアイドリング中は、車両のリクエストスイッチおよび電子キーの操作でのドアロック/アンロックは作動しません。リモコンのSTOP操作でエンジンを止めてから、車両のリクエストスイッチまたは、電子キーのアンロック操作にてドアを開けて下さい。
NEXT LIGHTのリモコンによるアンロック操作は、アイドリング中も停止後も可能です。

※予備(スペア)の電子キーも含めて、全て車室外に出してからリモコンでエンジン始動操作をしてください。

① 取り付け後の初期設定は、本ページの左下に記載した手順で、フットブレーキを使用して設定を行ってください。

① CN2のL端子(茶)接続先が無いため配線はせずに、オート検出にて使用してください。



ドアロック・アンロック

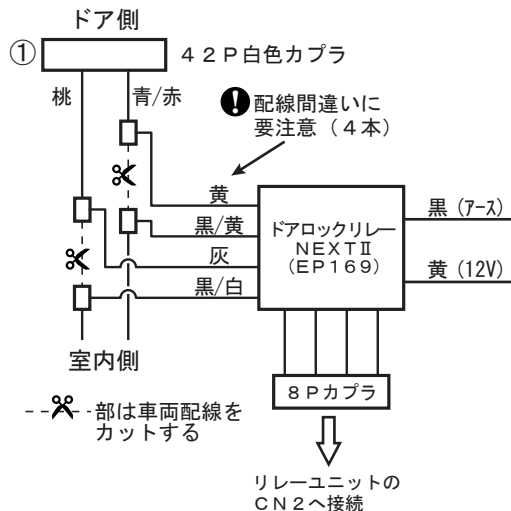
初期設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

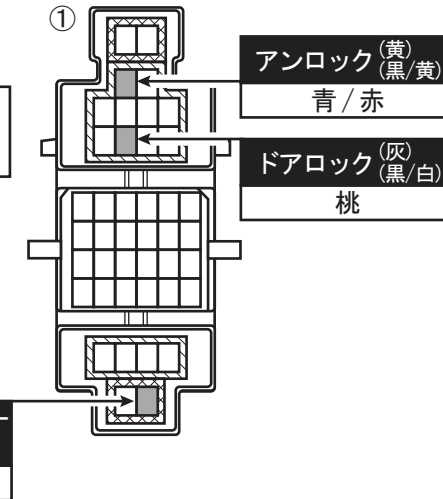
- ① 車両のイグニッションをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
 - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
 - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(リレーユニットCN2線色)
車両配線色

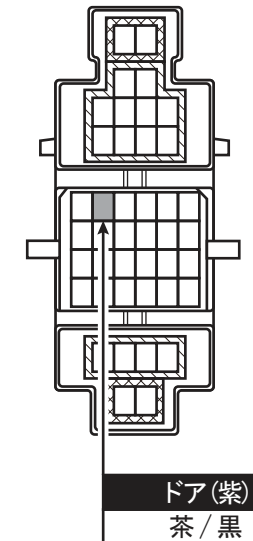
① ドアロックリレーNEXT IIが必要です。



運転席ドアへの中継
4 2 P 白色カブラ



運転席ドアへの中継
4 2 P 白色カブラ



① 運転席ドアの開閉のみ検出

NEXT LIGHT Q & A

ESL80-2

平成27年12月18日

Q1 認証エラーでエンジンが始動しない (図1)

- A1 : リモコンと電子キーは重ねた状態で、使用してください。(図2)
A2 : 全ての電子キーを車室外へ出して始動させてください。
※車室内に電子キーがあると始動しない場合があります。
A3 : 車両の電子キーの電池を新品に交換してみてください。(年式の古い車両)
※電子キーの電池が消耗していると始動しません。
A4 : LF配線の接続を確認してください。

Q2 車内、または近くでは始動するが離れると認証エラーで始動しない

- A1 : アンテナケーブルのコネクタが抜けていないことを確認してください。
※抜けていると、20m~30mしか飛びません。(図3)
A2 : 送信ユニットが正しく接続されており車種別取付資料で指定された場所に取り付けしてあることを確認してください。
※正しく取り付けされていないと、20m~30mしか飛びません。

Q3 エンジンは始動するが、すぐに止まってしまう。

- A1 : ST入力配線の接続を確認してください。
※正しく接続されていないと、始動してもすぐにエンジンが止まります。

